

二六四七番

横雲よこぐもの 空そらゆ引き越こし 遠とほみこそ 目め言こと離かるらめ  
絶たゆと隔へだてや

二六四八番

かにかくに 物ものは思おもはじ 飛ひ驛だ人の 打うつ墨すみ縄なはの  
ただ一ひと道みちに

二六四九番

あしひきの 山やま田だ守もる翁をぢ 置おく蚊か火ひの 下した焦こがれ  
のみ 我あが恋こひ居をらく

二六五〇番

そき板いたもち 葺ふける板いた目ための あはざらば いか  
せむとか 我わが寝ねそめけむ